

／ 陳恆輝 アンドリユー・チャン ハンファイ

1970年、香港生まれ。アリス劇場実験室(Alice Theatre Laboratory)芸術総監督。香港舞台芸術アカデミー(HKAPA)演劇学科演出専攻卒業。卒業公演《ヴォイツェック》で校内優秀演出賞受賞。代表演出作品は《カフカの七つの箱》、《第三帝国の恐怖と貧困》、《勝負の終わり》、《ハムレットマシーン》、《香港三人姉妹》、《テンペスト》、《幻のような演劇を一本》など。しばしば中国内陸、台湾、海外に招かれて演出する。2009年《カフカの七つの箱》で「第十八回香港舞台劇賞」の最優秀演出賞(悲劇・シビア劇)及び「第一回香港小劇場賞」最優秀演出賞受賞。2013年《勝負の終わり》で「第五回香港小劇場賞」最優秀演出賞受賞。2018年《香港三人姉妹》で「第二十七回香港舞台劇賞」最優秀演出賞(悲劇・シビア劇)ノミネート。2017年《香港三人姉妹》の台北公演で、台北フリンジフェスティバルで優秀作品賞受賞。その他、エディンバラ・フェスティバル・フリンジや、兩岸小劇場芸術フェスティバル(中国本土・台北共同フェスティバル)、台北関渡芸術フェスティバル、烏鎮演劇祭など、アートフェスティバルに参加し、同時に様々な地域の芸術家と提携している。近年は国際交流プロジェクトに積極的に関わり、2020年は日本演出者協会の招聘にて、オンラインワークショップ「国際演劇交流セミナー2020香港特集」の講師を務め、日本の演出家、俳優と《香港三人姉妹》で使われた「ディバイジングシアター」という演出法をシェアする。



／ 参加者へのメッセージ

ディバイジングシアターは地図のない冒険のように、プロセスはとてつらく、未知なことが多いのですが、完成するときは必ず満足感に浸ります！そして、そのプロセスの中で意外な収穫を得て、新しい自分が見つかるかもしれません。日本演出者協会より二年続きのお誘いをいただき、本当にありがとうございます。今回は古典的戯曲を元に新しい作品を作る可能性を探りました。今回は三島由紀夫の「美」をテーマに、みなさまをディバイジングシアターとポストドラマ演劇の世界へ連れていきたいと思っています。

／ ディバイジングシアターとは？

集団創作の手法の一つ。あるテキストや原作をベースに、参加者がアイデアを出し合い、それらを一つの作品にまとめていく。日本ではなじみが薄いですが、脚本をベースにするスタイルとは違い、各参加者の視点が反映されていくため、創造的な作品になりやすい。

ワークショップ内容 定員人数：16人(東京8人+京都8人) 題材：三島由紀夫作品

東京会場：①『仮面の告白』 ②『女神』

京都会場：③『金閣寺』 ④三島由紀夫の生涯についての本/資料

※参加者は抽選によって4人一組のチームに分かれ、各チームは上記の1-4の題材のどちらかを扱う。

1日目 12月14日(火)18:00～22:00

- ・ウォーミングアップ(アイスブレイク)
- ・ポストドラマ演劇理論を紹介
- ・アンドリユー・チャンのディバイジングシアターについての解説
- ・個人パフォーマンス Part 1

2日目 12月15日(水)18:00～22:00

- ・ウォーミングアップ(個人、全体)
- ・個人パフォーマンス Part 2
- ・グループ討論(各題材について)
- ・エクササイズ：15分間の三島由紀夫

3日目 12月16日(木)18:00～22:00

- ・ウォーミングアップ(個人、全体)
- ・グループプレゼンテーション(各題材について)
- ・ディバイジング行動・1：シンボル化行動
- ・ディバイジング行動・2：詩化行動(個人)
- ・グループ討論

4日目 12月17日(金)18:00～22:00

- ・ウォーミングアップ(個人、全体)
- ・プレヒト練習(A dog came in the kitchen)
- ・ディバイジング行動・3：詩化行動(グループ)

5日目 12月18日(土)10:00～14:00

- ・ウォーミングアップ(個人、全体)
- ・形体練習：象形文字
- ・最終日の作品を構築
- ・発表のための稽古

6日目 12月19日(日)13:00～20:00

- ・発表のための稽古
- ・作品発表
- ・全体まとめ

申し込み・問い合わせ

ワークショップ参加者(12/8締切)

右記の申し込みフォームよりご応募ください。

<https://forms.gle/hVN5Wdg6t1f81EQu6>

☎ 090-1996-8673(担当:佐川)



見学参加者(締切は各回直前まで)チケットシステム「PEATIX」からお申し込みください。

<https://jdaiad-hongkong2021.peatix.com/>

